

生物農薬「非病原性エルビニア・カロトボーラ」製剤の特性と使用上の留意点

「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律」では生物農薬の一層の有効活用が求められている。病害防除を目的として、農薬登録のある生物農薬は5種類あり、「非病原性エルビニア・カロトボーラ（商品名：バイオキーパー水和剤）」はその一つで、野菜類の軟腐病に対して化学合成農薬と同等の防除効果を期待できる。本剤を病害虫防除基準のはくさいとキャベツに採用したので、本生物農薬の使用方法和留意点を解説する。



非病原性……

= 軟腐病菌 - 野菜を軟腐させる能力
(病原力)

図1 非病原性エルビニア・カロトボーラってなに？

軟腐病の病原菌の病原力を失わせて、病気を起こす力をなくしたもの。
バイオキーパーの菌が病原性を復活することがないことは膨大な試験で明らかにされている。

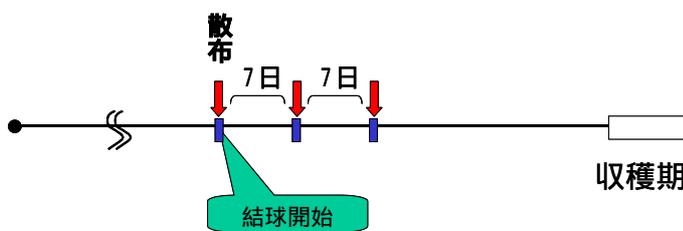


図2 はくさい、キャベツの防除方法

本剤1,000倍液200ℓ/10aを結球開始期から7日おきに散布する。

キャベツは3回の防除で十分であるが、降雨が続くようであれば追加防除する。

はくさいは、軟腐病に弱いので1,000倍の場合、収穫まで5回散布することが望ましい。

使用上の注意として、混用あるいはローテーションで交互散布できない薬剤があるので、使用に当たっては農業べんり帳で確認するか、最寄りの普及センターに問い合わせること。

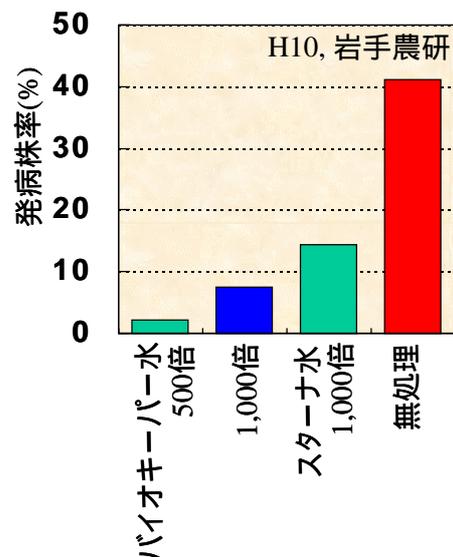


図3 キャベツ軟腐病に対する防除効果
本剤1,000倍液散布はオキシリニック酸水和剤(スターナ水和剤)と同等の防除効果を示す。